

かわまちづくりとは

かわまちづくりとは河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組みのことです。かわまちづくりでは、「かわ」とそれにつながる「まち」を活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、地域の「顔」、そして「誇り」となるような空間形成を目指します。

計画期間

令和8年度 - 令和12年度 (2026 - 2030)

本計画の対象と地域における課題

内田地区 ~河畔に賑わいを取り戻す！~

昭和40年頃、レジャー施設である「犬山遊園地」や旅館街でにぎわっていたが、犬山観光が日帰り客中心の観光地となるに従い、旅館数が減少してきた。一方、新たなホテルの開業やインバウンド需要の高まり、犬山城登城者数が過去最高となるなか、混雑する城下町からの回遊性を促す等、観光需要に応じた賑わいづくりや、木曽川の風光明媚な景観を活かし、観光客と市民にとって憩いの空間づくりが求められている。



昭和40年頃



現在



木曽川鶴飼



ロングラン花火



木曽川遊覧船



犬山朝市

栗栖地区 ~みんなで守る！創る！栗栖の自然と園地~

栗栖地区の木曽川河畔は竹林が無秩序に繁茂していたが、地域の継続的な活動により川を望みながら歩ける竹林遊歩道整備が進められている。また、木曽川河畔と栗栖園地、桃太郎神社、野緑公苑を一带として、アウトドアアクティビティの拠点として地区全体の活性化を図る必要がある。



桃太郎神社



栗栖園地



竹林遊歩道



ラフティング

犬山市かわまちづくりの必要性・緊急性

①犬山市かわまちづくりの必要性・緊急性

訪日外国人滞在数増加率ランキング 全国NO.1

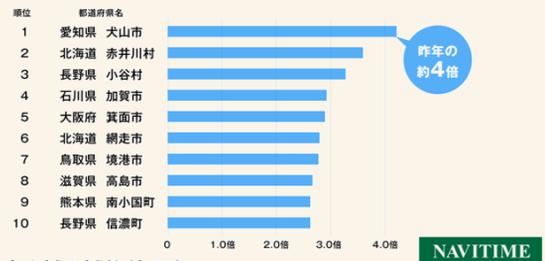
～インバウンド需要の高まりとスローな観光を目指して～

●インバウンド需要の高まり

- ナビタイムが2024年3月に発表した冬季の人氣急上昇ランキングで愛知県犬山市はトップにランクインしました。訪日外国人滞在数増加率が前年の約4倍で、2位以降のスキーをはじめとした冬季ならではのアクティビティを抑えての1位となっています。

訪日外国人滞在数増加率ランキング TOP10

(訪日外国人観光客向け「Japan Travel by NAVITIME」2022年12月～2023年1月と2023年12月～2024年1月を比較)



●犬山城登城者数 過去最高65万人を達成！

- 犬山城の入場者数は、過去最低を記録した2003年の190,585人から、2024年には過去最高65万人(3.5倍)を記録しました。

●城下町歩行者数が2.5倍に

- 城下町の平均歩行者数は、2012年は1日平均約1,700人だったところが、2023年度は2.5倍の約4,500人となっています。(GWは約7,300人と混雑状況となっている)。



犬山城登城数(年間)



城下町歩行者数(1日平均)

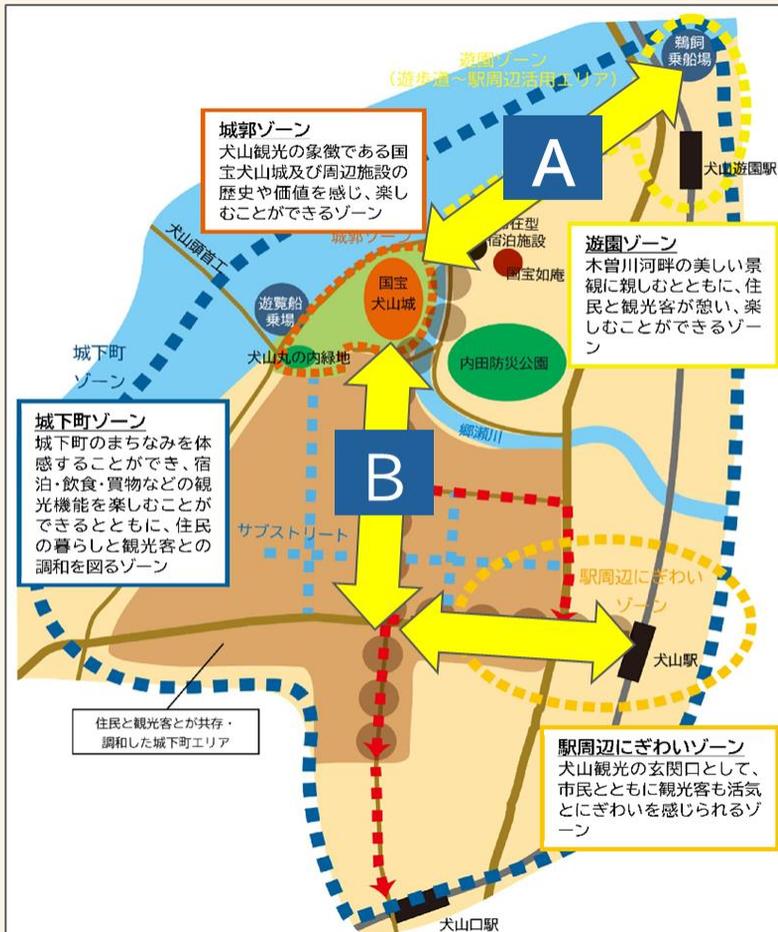


⇒複数立ち寄りによる分散(回遊性の向上)

⇒滞在時間の延長・観光消費額の向上

⇒住民と観光客の共存による新たな観光まちづくりの展開

ハード整備の必要性と効果



- ・河畔整備による回遊性向上・分散型でスローな観光の実現
- ・犬山城下町の混雑緩和
- ・滞在時間延伸による宿泊と消費の増加、経済活性化

- 犬山三景「水景・城景・緑景」は、水があることで舟運が栄え、城ができ、産業が集積する城下町が形成されたこと、そして祭や鶺鴒等の伝統文化が生まれ川と水の恵みにより実り豊かな里山ができたこと、つまり水（木曾川）の恵みこそが地域や歴史、人の営みを繋ぎ、全体を繋ぐ基本資源である、その上に城（文化）と緑（豊かな自然）があるという考えです。
- 犬山市観光戦略ではこの考えに立ち、基本コンセプトは景観だけでなく観光まちづくりの為の空間整備・資源・サービスの創造提供、人材育成、広報活動などに取組む際に常に立ち返る原点と規定しています。犬山らしさの基本的概念と言い換えることができます。
- 犬山市かわまちづくり計画においてもこの考えを踏襲し、「犬山三景」を基本コンセプトとした上で、木曾川河川空間が「かわ」と「人」と「まち」を繋ぐ特別な場所と捉えることで、川を中心に人が集い、賑わいが生まれ、地域の人も心豊かに活躍できる日本で一番美しい河畔を形成することを目指して、本計画の基本的概念（コンセプト）と定めます。



国宝犬山城と木曾川



遊覧船と日本ラインの景観

参考 犬山市観光戦略 2022（令和4）年3月 策定

● 犬山らしさの基本コンセプト

犬山三景 水景・城景・緑景

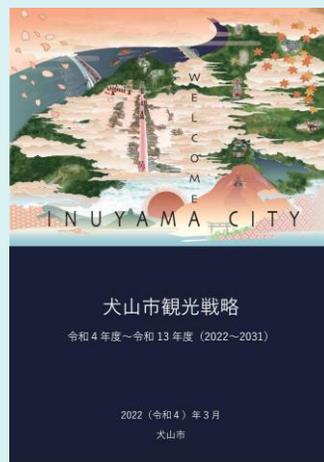
日本ライン観光の再発見・水がはじまるところ・水が育む城下町と緑の自然

● 観光まちづくりの将来像

犬山らしさを磨き、ずっといたくなる、
みんなでつくる・みんなのための観光

● 重点プロジェクト

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ① 遊園ルネサンス | ⑤ SDGs体験・学習サイト |
| ② 日本ライン再発見ルート | ⑥ クロスオーバー資源開発 |
| ③ 城下町環境レベルアップ | ⑦ ユニークMICE |
| ④ 城下町クリエイティブ層
の移住マッチング | ⑧ 広域連携 |





舟運メニュー拡充 (宴会船等)
(親水護岸 (階段護岸) の活用)



鵜飼観覧充実 (岸辺からの観覧等)
(親水護岸 (階段護岸) の活用)



名勝木曾川の眺望・景観向上
(遊歩道の整備 (堤防盛土))



来訪者の安全確保と
水辺を活用した新たなにぎわい創出
(親水護岸 (階段護岸) の活用)



生物の保全 (階段護岸の活用)

※ 現時点での案であり、今後変更する可能性があります。

内田地区

整備の概要

エリア	実施主体	整備項目	概要
木曾川 河畔空間 エリア	犬山市	木曾川河畔 遊歩道再整備	市道犬山395号線の車道と遊歩道の高低差を解消するなどして空間を有効に利活用出来るよう、遊歩道空間の構成を改善します。舗装の再整備をはじめ、常設店舗設（テーブル・イス等休憩施設設置）や植栽の整理（老木を含む）、照明等をはじめ、張り出しデッキ、照明施設、給電・給排水施設等の便益施設の整備を配置します。
		水上ステージ （仮設）	各種イベントや鵜飼・舟運等の川文化の魅力を発信するガイダンス施設として、仮設での水上ステージを設けます。
		市道犬山395号 線の改修	車道部分について、自動車速度抑制対策や交差点安全対策を行います。また周囲の商業施設に立ち寄りやすく、安全で安心して歩ける道とするため、民地側の歩行者空間を明示する舗装を行います。
		階段・スロー プ改修	護岸に付属する現況箇所の階段・スロープについて、老朽化対策を行います。
		親水護岸改修 （階段護岸）	環境学習の実施や水辺に親しむことのできるよう、水際部まで誘う連続的な階段護岸を改修します。
		グリーンロー ド再整備	歩行者・自転車道として再整備を行います。 （管理用通路の舗装の劣化対策）
	国土交通省 （河川管理者） 犬山市	堤防盛土	国宝犬山城を望む良好な水辺景観の確保を行います。
	親水護岸 （階段護岸）	環境学習の実施や水辺に親しむことのできるよう、水際部まで誘う連続的な階段護岸とします。	
木曾川 鵜飼・遊覧 エリア	犬山市	乗船場補修	鵜飼・遊覧船の乗降場の老朽化に伴う補修を行います。
		犬山橋トイレ 改修	現況トイレの老朽化に伴い、改修整備を行います。

※ 現時点での案であり、今後変更する可能性があります。

内田地区

整備の工程

エリア	主体	整備項目	登録	1期					2期～
			R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
木曾川 河畔空間 エリア	犬山市	木曾川河畔 遊歩道再整 備、市道犬 山395号線 の改修など	計画 登録					遊歩道再整備ほか	継続実施
	河川 管理者	堤防盛土、 親水護岸		護岸嵩上げ				親水護岸	
	市・民間事 業者・住民 団体等	ソフト施策	(実証実験)	→					
都市・地域 再生等利用 区域の検 討・指定						検討・関係者との協議			指定
木曾川 遊覧 エリア ・ 鵜飼	犬山市	乗船場補修、 犬山橋トイレ 改修	トイレ改修 設計施工						乗船場補修 設計施工

※ 現時点での案であり、今後変更する可能性があります。



栗栖地区

整備の概要

エリア	実施主体	整備項目	概要
栗栖園地 エリア (栗栖園地)	犬山市	整地・張芝工 区画線工	園地の整地、芝生の植栽を行います。 また、既設駐車場の区画線工を行います。
		進入路の拡幅 工事	栗栖犬山線からの栗栖園地への進入路拡幅を関係者と協議の上検討します。
栗栖園地 エリア (船着場周辺)	【2期】	船着場整備	船着場として乗降可能な階段整備を行います。
栗栖園地 エリア (桃太郎神社周辺)	民間・市民 団体等	神社前店舗活 性化（検討）	神社前の店舗は経年により建物が老朽化しています。桃太郎神社 エリアの魅力維持向上のため、商業施設の充実は必須と考えま すが、一方で改修等には事業費、維持管理上の課題があります。 賑わいが継続できる方法について、関係者にて検討していきます。
栗栖竹林 エリア	ミラマチ 栗栖	竹林整備	竹の間引きや草本の除去による竹林の道の整備を継続します。

※ 現時点での案であり、今後変更する可能性があります。

エリア	主体	整備項目	登録	1期					2期～
			R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
栗栖園地 エリア	犬山市	整地・張芝工、進入路の拡幅工事など	計画登録	設計・施工					
	市・民間事業者・住民団体等	都市・地域再生等利用区域の指定		検討	指定	事業実施			
船着場 エリア	【2期】	船着場整備					設計	施工	
桃太郎 神社 エリア	桃太郎 発展会等	店舗の再整備検討	継続実施						
栗栖竹林 エリア	ミラマチ 栗栖	竹林整備	継続実施						
栗栖地区 (全体)	市・民間事業者・住民団体等	ソフト施策	継続実施						

※ 現時点での案であり、今後変更する可能性があります。

ソフト施策の展開

かわとまちをつなぐ～回遊性向上と広域連携～

犬山駅（犬山城下町～国宝犬山城～木曾川河畔）から犬山遊園駅～栗栖地区までの回遊性を高める仕組みづくりを進めます。

- 回遊性向上を図る取組み（総合的な広報戦略の実施）
ウォーキング・サイクリングコース、サイン・SNS等の広報
- 木曾川河畔を巡るツアーや歩きたくなる視点場等の充実
- 様々な枠組みでの連携によるエリア全体での魅力向上
舟運や文化、サイクリング等による広域連携

内田地区

木曾川河畔空間エリア

かわとまちの賑わいを創出する

- 日本ライン夏まつりロングラン花火の継続実施
- 犬山朝市の継続開催と充実、夜市など新企画の実施
- 新たな事業の検討（親水護岸整備により演奏会やイベント等を実施）
- 常設店舗設置による賑わい創出と魅力の向上・宿泊と消費拡大
- 住民・来訪者の交流・憩いの場づくり
- 良好な自然環境を育み、親しむ
- 河川環境の保全、環境学習の実施

鶺鴒・遊覧エリア

かわとまちの歴史文化を守り、継承する

- 木曾川鶺鴒の保存・継承
- 遊覧船メニューの充実

自転車・舟運による回遊性向上・広域連携

木曾川

栗栖地区

栗栖竹林エリア

- 良好な自然環境を育み、親しむ
- 竹林の道の維持管理と持続可能な管理運営体制の構築
- 自然体験活動の実施

野外活動センターエリア

- 良好な自然環境を育み、親しむ
- 自然体験活動の実施

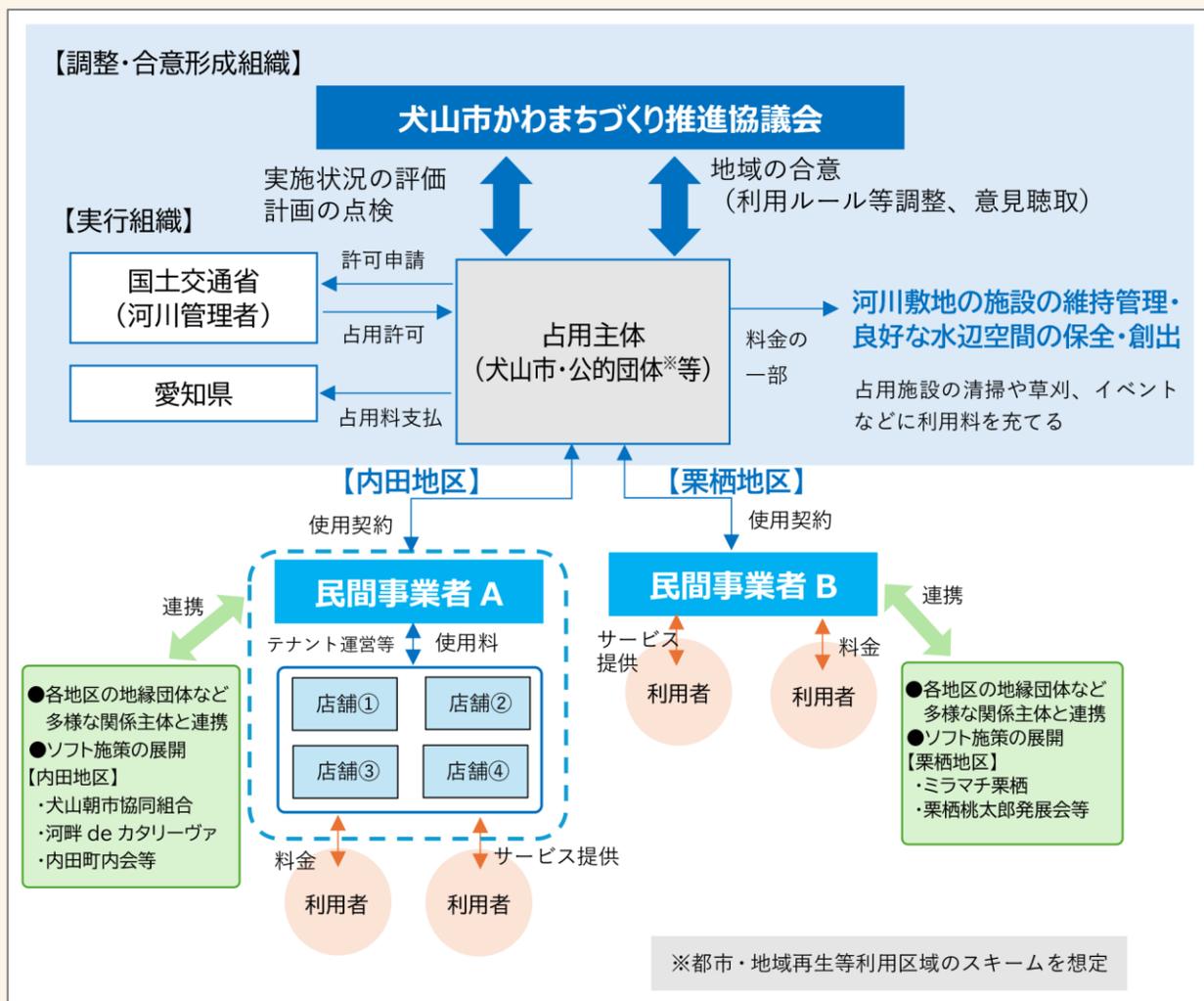
栗栖園地エリア

- かわとまちの賑わいを創出する
- 栗栖園地におけるアウトドアアクティビティの提供と充実
- 持続可能な管理運営体制の構築
- 遊覧船による舟運やラフティングによる川遊びの提供と充実
- 桃太郎神社や商業施設の充実による賑わいの創出
- 野縁公園を活用した賑わいの創出
- 良好な自然環境を育み、親しむ
- 水と魚に親しむイベントの開催



- 凡例
- ◀...▶ かわ側の連携（舟運）
 - ↔ まち側の連携

推進体制



目標指標

指 標	現状値	目標値 (R13年度)
木曽川河畔空間の歩行者数 (1日あたり)	1,531人 (R6年度)	1,700人
木曽川鵜飼 年間乗船者数 犬山城遊覧船 年間乗船者数	17,538人 4,664人 (R6年)	20,000人 6,000人
観光に関する地域との取組の年間実施回数	13回 延べ170人 (R5年度)	3回 30人/年を維持
観光消費額	日帰り消費額 4,306 円/人 宿泊消費額 23,036 円/人 (R4年)	日帰り消費額 4,737 円/人 宿泊消費額 25,340 円/人
年間訪日外国人 宿泊者数	13,852人 (R5年)	16,200人
犬山遊園駅の年間乗降者数	490,468人 (R5年度)	540,000人

発行 犬山市経済環境部観光課

〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36番地
TEL 0568-44-0342 (直通) FAX 0568-44-0367
E-mail 040500@city.inuyama.lg.jp

犬山かわまちづくり計画の
詳細は左の二次元コードを
読み取ってください

